



チャトラ『プレイス』における 「チャトランの壁」完成報告のための市長表敬訪問

要旨

沼津市大手町にある築47年のビルをリノベーションした「チャトラコーヒー」2階のアートスペース『プレイス』において、本市在住のアーティスト・マツナガマサエ氏がコーヒーで描くアート作品を制作しました。

作品の完成と、1か月にわたるライブドローイングの様様を報告するため、マツナガマサエ氏と、チャトラコーヒー店主・古谷哲成氏が市長を表敬訪問します。

概要

1 日時 令和8年6月11日(木) 10時から

2 会場 沼津市役所4階 特別応接室

3 訪問者 マツナガマサエ氏

沼津市出身・在住のミューラルアーティスト。
壁画・ウインドウアート・ボディペインター・
イラストレーター・油彩画・襖絵・大道具小道具制作など、絵に関わる様々な分野で活動。
沼津駅前地下道テープアートやリコー通り「カベヌマ」に参加。



古谷 哲成(ふるや のりまさ)氏

沼津市出身・在住。チャトラコーヒー店主。
沼津市の空きビル活用プロジェクト「___for now」参加をきっかけに地元に戻り、開業。



4 その他 詳細は別紙を参照してください。
当日は、会場に壁画作品を持ち込み、チャトラ『プレイス』を再現します。

お問い合わせ先

沼津市役所 産業振興部 商工振興課
直通：055-934-4748

チャトラコーヒーは、1979年築の旧「かとう靴店」ビル1階に2022年オープンしました。長年地域を見守ってきた建物への敬意を込め、当時の看板を残したまま営業しています。



作品が制作されたチャトラ『プレイス』は、同ビル2階を沼津市民間支援まちづくりファンドの補助金を活用してリノベーションし、2024年にオープンしました。

マツナガ氏による「チャトランの壁」は、コーヒーで描かれています。『プレイス』内に簡易壁を設置し、プロジェクターで下描きを行ったうえで、コーヒーの色味や質感を活かしながら壁画を制作。約1か月間にわたり公開制作が行われました。



メイン作品「神よ、この『プレイス』で我を生き延びさせ給え！」は、ベルリンの壁の有名なグラフィティアートをオマージュした作品で、「生き延びること」をテーマにしています。チャトラ『プレイス』が、多様な人々の表現を支える場となってきたことと、マツナガ氏の「希死念慮を先延ばしにさせたい」という制作理念が重なり、今回の作品制作につながりました。

また、来場した子どもたちにもコーヒーを画材として使う体験を提供するなど、幅広い世代がアートに触れられる空間づくりが行われました。

表敬訪問では、制作の流れや空間づくりへのこだわり、これまで実施してきた展示イベントについても紹介します。今後も地域とつながるアート活動を継続し、文化発信や交流の活性化につなげていくことを報告します。

